

## 審議会会議録

1	会議の名称	平成29年度第2回富津市子ども・子育て会議
2	開催日時	平成29年10月4日 午後2時～午後2時50分
3	開催場所	富津市役所502会議室
4	審議等事項	○議題 (1) 子ども・子育て支援事業計画の見直しについて (2) その他
5	出席者名	出席委員 宮里幸樹、井上久吏子、白井佳恵、小曾根勝己、高橋多賀子、 鈴木眞廣、岡村京子、渡辺務、竹谷覚治 欠席委員 鵜田 勝、相澤靖司、白石喜好、平野香織、岩瀬志帆、松倉 佳子 事務局 島津健康福祉部長、木村子育て支援課長、小柴保育係長、中 山子ども家庭係長、川名社会福祉主事、圓川主査
6	公開又は非公開の別	公開 ・ <del>一部非公開</del> ・ <del>非公開</del>
7	非公開の理由	
8	傍聴人数	1 人 (定員5人)
9	所管課	健康福祉部子育て支援課子ども家庭係 電話 0439-80-1256
10	会議録 (発言の内容)	別紙のとおり

平成 29 年度第 2 回富津市子ども・子育て会議 会議録

発言者	発言内容
事務局：中山	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の確認</li> </ul>
事務局：中山	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議の成立 9名の委員の方が出席しており過半数を超えているので、子ども・子育て会議設置条例第6条第2項の規定により、会議は成立する旨報告。</li> </ul>
事務局：中山	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議の公開 この会議は、富津市情報公開条例第23条の規定により公開する。 傍聴人1名あり。</li> </ul>
事務局：中山	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> </ol>
渡辺会長	<ol style="list-style-type: none"> <li>2 会長挨拶 一昨年の11月に委員の委嘱を受けて、今回の会議がこのメンバーでの最後の会議になる。この2年間、任期中に皆さんには熱心な議論をいただいた。心より感謝をしている。ただ、これで終わりということだけでなく、今後も富津市の子どもたちの育つ環境、これについて色んなご意見をいただいたり、相談に乗っていただいたり、ご協力をお願い申し上げたい。</li> </ol>
渡辺会長	<ol style="list-style-type: none"> <li>3 会議録署名人の指名 会長のほか、岡村委員にお願いする。</li> <li>4 議題</li> </ol>

<p>渡辺会長</p> <p>事務局：木村課長</p>	<p>&lt; (1) 子ども・子育て支援事業計画の見直しについて &gt;</p> <p>(1) 子ども・子育て支援事業計画の見直しについて、事務局の説明を求める。</p> <p>《資料1に沿った説明》</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 幼児期の学校教育・保育の量の見直し</li></ul> <p>量の見込み及び確保方策の修正の有無を地区別、認定区分ごとに説明。</p> <p>認定区分ごとの量の見込みは、見直し値が10%以上かい離した部分について修正する。</p> <p>認定区分ごとの確保方策は、見直し値を上回っていることから修正を行わない。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域子ども・子育て支援事業の見直し</li></ul> <p>13事業について、事業ごとに説明。</p> <p>①利用者支援事業</p> <p>子育て支援事業に対するニーズは高く、効果的な情報提供等には関係機関との連携が必要なため修正しない。</p> <p>②地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援センター）</p> <p>富津地区においては量の見込みに対し実績値が大きく下回っていることから、修正しない。大佐和地区では実績値が量の見込みを上回っていることから見直しし、平成30年度からの量の見込みを平成28年度実績値に修正する。</p> <p>③妊婦健診</p> <p>妊娠届け出の遅延や市外への転出等から14回受診しない場合があり、実績とのかい離はあるが、量の見込みとしては出生見込数が基本であり、最大14回受診する見込みで算出しているため修正しない。</p> <p>④乳児家庭全戸訪問事業</p>
-----------------------------	--

実績とのかい離が少ないため、修正しない。

⑤養育支援訪問事業

量の見込みの推計がたてにくいため、修正しない。

⑥子育て短期支援事業

今後の事業実施の検討に伴い、適正に量を見込む。

⑦子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）

実績とのかい離は大きいですが、各種事業における相談内容より、当該事業の潜在的ニーズが高いと判断されるため、修正しない。

⑧一時預かり事業

幼稚園における在園児を対象とした一時預かりについては、実績が量の見込み及び確保方策を上回っていることから、量の見込み及び確保方策を平成27年度、平成28年度の平均値に修正する。保育所における一時預かりについては、実績が量の見込みを下回っているが、潜在的利用ニーズが高いと想定されることから量の見込み及び確保方策ともに修正しない。

⑨延長保育事業

富津地区については、実績が量の見込み及び確保方策を上回っていることから、量の見込み及び確保方策を平成27年度、平成28年度の平均値に修正する。大佐和地区及び天羽地区については、平成27年度、平成28年度ともに実績が量の見込みを下回っているが、潜在的利用ニーズが高いと想定されることから量の見込み及び確保方策ともに修正しない。

⑩病後児保育事業

平成27年度・28年度ともに実績が量の見込みを大きく下回っているが、利用者は増加傾向にあり、需要の増加が見込まれることから修正しない。

<p>渡辺会長</p> <p>委員</p> <p>渡辺会長</p> <p>事務局：木村課長</p>	<p>⑪放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）</p> <p>実績が量の見込みを下回り、かい離は大きいものの、ニーズが高いことから量の見込みは修正しない。富津地区では平成28年度に定員増加が1クラブ、大佐和地区では平成29年度1クラブ開設の実績から確保方策の児童数を修正する。さらに、天羽地区では平成30年度からの1クラブ開設予定に伴い確保方策の児童数を修正する。</p> <p>⑫実費徴収に係る補足給付を行う事業</p> <p>事業実施なし。</p> <p>⑬多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業</p> <p>事業実施なし。</p> <p>○意見、質疑</p> <p>なし</p> <p>事務局の説明のとおり、子ども・子育て支援事業計画を見直し修正することとしてよろしいか。</p> <p>異議なし。</p> <p>異議ないものと認め、案のとおり修正することとする。</p> <p>計画の見直しに係る今後のスケジュールについて説明する。</p> <p>本日、承認を得たので、体裁を整え決裁の後、議会報告を経て速やかに公表する予定。</p>
---	---

渡辺会長

事務局：木村課長

< (2) その他 >

(2) その他について、事務局の説明を求める。

・子育て応援ガイドブックについて

第1回の会議において委員の方から意見を出したいとの要望を受け、照会したところ、時間のない中で意見を出していただいた。いただいた意見について可能な限り反映させた。意見と対応については資料2のとおりとなっている。

子育て応援ガイドブックは9月26日に納品された。

市内及び近隣の事業者の広告掲載の協力を得て作成した。

市内の小学生以下の児童のいる世帯全てに配付する。配付方法は母子健康手帳の交付時、各種健診時に加え、子育て支援課、健康づくり課の窓口。保育所(園)、幼稚園、小学校を通じて配付を予定している。

2年を目処に今回と同様、官民連携にて発行していきたいと考えている。今回いただいた意見で反映できなかった部分については次回作成時に参考とさせていただきたい。

・委員改選の段取りについて

任期が平成29年11月13日で満了となることから、次期委員の選出を行う。

過去の選出方法としては条例区分ごとにできるだけ多くの関係機関に委員の選出をお願いしたいとの考え方から、委員選出区分である15の関係者、関係機関、施設に委員の選出を依頼し、推薦をってもらう手法を取ってきた。この手法は各関係機関や施設等に選出の負担をかけること、同一人物が選出されやすいことから、今回は市が直接委嘱の依頼をさせていただく。こ

<p>小曾根委員</p> <p>事務局：木村課長</p> <p>鈴木副会長</p> <p>事務局：木村課長</p>	<p>れはより多くの方々から多様な意見をいただくことと、各関係機関などへの負担の軽減を図ることを目的としている。</p> <p>委員選出区分によっては機関や施設が限定されているところもあるが、複数の関係機関や施設がある場合については基本的には現委員とは異なる機関や施設からの選出を予定している。</p> <p>委嘱させてもらう方々について、委員選出区分ごとの機関や施設には改めて連絡する。</p> <p>なお、現在公募を行っている就学前の子どもの保護者について、応募機関を9月1日から10月13日迄とし、市ホームページや広報ふつつ等で周知しているが、本日現在応募はない。皆様方の知り合いに適任者と思われる方がいればお声がけをお願いしたい。</p> <p>○意見、質疑</p> <p>次期委員について、市から直接という話であるが、団体に依頼するのでなく、市からピンポイントで依頼する方式なのか？</p> <p>個人に直接ということではなく、機関や団体に直接お願いする。複数の機関や団体があるところの区分だと、例えば公立保育所は7つあるが、7つの保育所で相談してもらう形だと手間をかけてしまうので、こちらから〇〇保育所長にお願いする、と指定させていただく。団体の場合は、団体に選出依頼をする。前回と同じ形になる。区分によっては限定されてしまうところもある。</p> <p>子育て応援ガイドブックについて、学齢期はどこまで配付対象とするのか？</p> <p>小学6年生までの児童に学校を通じて配付する。</p>
---	--

<p>鈴木副会長</p>	<p>次期委員の委嘱についての説明で、私の場合はこの任期で一区切りとなるが、次期会議への希望として。国から平成27年度に新制度がおりてきて、国のメニューに従って富津市も計画や予算立てということが中心となって実施をしてきたが、その中で当初から話題になっていた、富津市としてどういうことが独自にやれるのかということをお互いが意見として出してきた。その辺りが十分に議論ができて形になっていったのが、時間が足らなかったと正直思う。</p> <p>市長も子育て日本一を掲げて頑張っている。日本一の中身について、次の委員に富津市独自の施策を時間をかけて練って形にして欲しい。</p>
<p>事務局：木村課長</p>	<p>富津市独自の実施できる事業の検討や協議が十分ではなかったことについては、実際に否めないところである。その中で、現委員の皆様には今後も引き続き意見をいただきたい。また、相談もさせていただきたい。</p> <p>基本的に大勢の方から意見をいただきながら作り上げていくことで輪を広げていく。委員でないから意見が言えないということではなく、委員と同様に意見を随時いただきたい。</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>その他、事務局からあるか。</p>
<p>事務局：中山</p>	<p>先ほど説明したとおり、11月に委員改選となる。第3回の子ども・子育て会議は11月末から12月中の開催を予定している。</p> <p>本日で現委員での会議は最後となるので、島津健康福祉部長からお礼の言葉を申し述べさせていただく。</p>
<p>事務局：島津部長</p>	<p>お礼の言葉を述べる。</p>

渡辺会長

会議日程はすべて終了した。以上で閉会とする。

14時50分 閉会